

# 調査活動費

小計 107,880 円

領 収 書 等 貼 付 用 紙

調査活動費	頁小計	102,000 円	備考	
-------	-----	-----------	----	--

①

領 収 書

No. 4534-006276-0002707943-006  
発行日：2022年6月7日

ご氏名 **日本共産党町田市議団**

様

¥ 45,000,-  
~~¥ 60,000,-~~

但し 第64回自治体学校 in 松本 参加費として @15,000(3月南) x 3人分 = 45,000,-



株式会社日本旅行ソリューション事業本部



領 収 書

No. 4534-006276-0002707943-007  
発行日：2022年6月7日

ご氏名 **日本共産党町田市議団**

様

¥ 57,000,-  
~~¥ 76,000,-~~

但し 第64回自治体学校 in 松本 7/23(土)~7/24(日)宿泊費として 2泊、19,000円 x 3人分 = 57,000円



株式会社日本旅行ソリューション事業本部



※ 戻金(母親葬儀)の為にキレビレの宿泊費2泊19,000円 x 3人分  
+ 手数料を引いた金額を返金 (印) ②

# 領 収 書 等 貼 付 用 紙

調査活動費	頁小計	25,880 円	備考	
-------	-----	----------	----	--

## 領 収 証

2022年 6月25日

日本共産党町田市議団 様 ~~¥25,880.-~~  
 金 ~~47,840 円~~

印 紙 税 甲 告 納 付 に つ き 渡 谷 税 務 署 承 認 済
---

ただし、乗車券類代  
として、上記金額を受領しました。

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、  
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社  
町田801 No.000006

○ 殿村市議の母様か逝去。一人分キャンセル 2/4  
 町田 ↔ 松本 (運賃・特急券 × 往復) 11,960 円  
 ※ 尚キャンセル料は、自己負担 (お払い)  
 (11,200 円)

※ 領収書は重ねて貼付しない。 ※ 領収書が枠からはみ出す場合は別紙に貼る。
---

# 松本

憲法を活かし  
地方自治が息づくまちづくり  
信州から発信!

松本城 (提供: 松本観光コンベンション協会)

みんなが先生 みんなが生徒

第64回

## 自治体学校

in  
松本

キッセイ文化ホール(長野県松本文化会館)  
松本市勤労者福祉センター/あがたの森文化会館

2022年7月23日(土)~25日(月) 終了後、7月30日(土)~8月7日(日)の間、  
オンラインで分科会・講座を開講します。

1日目 ● 全体会 7月23日(土) 12:30~17:30 キッセイ文化ホール 中ホール



記念講演①

「参院選の結果と  
これからの課題」

中山 徹 (奈良女子大学教授)



記念講演②

「大規模災害に備える  
自治体の課題」

室崎益輝 (神戸大学名誉教授)

3日目 ● 全体会 7月25日(月) 9:15~11:40 キッセイ文化ホール 中ホール



特別講演

「地球環境の危機と地方自治」

宮本憲一 (大阪市立大学名誉教授)



特別報告

「社会教育から住民自治へ  
—松本市のとりくみ」

田開寛太郎 (松本大学専任講師)

主催 ● 第64回自治体学校実行委員会

後援 ● 長野県/長野市/松本市/飯田市/阿智村/長野市教育委員会/長野県市長会/長野県町村会/長野県市議会議長会/長野県町村議会議長会/信濃毎日新聞社/共同通信長野支局/読売新聞松本支局/毎日新聞長野支局/中日新聞社/長野日報社/朝日新聞松本支局/市民タイムス/MGプレス/テレビ松本ケーブルビジョン/SBC信越放送/abn長野朝日放送/NBS長野放送/NHK長野放送局/テレビ信州/あづみ野テレビ/FMまつもと/FM長野 [2022年4月12日現在・順不同]



チーム TATSUHIKO

第64回

# 自治体学校 in 松本

上高地 (提供: 松本観光コンベンション協会)



## 1日目 全体会 (Zoom同時配信)

7月23日(土) 12:30~17:30

キッセイ文化ホール 中ホール

12:00~ 開場

12:30~ 歓迎行事・演奏

「チームTATSUHIKO」

大町市在住のミュージシャン柳澤和夫をリーダーとして、坂本弁護士一家殺害事件で犠牲となり大町市の山中に埋められていた龍彦ちゃん(当時1歳)のことを忘れまいと歌い継ぐ活動を重ねています。女性ヴォーカルの後藤叶圭さんは2000曲以上のCMソングで茶の間でその声が知られています。

13:00~ 開校宣言/開校あいさつ 小山国治 (実行委員長)

13:10~ 記念講演①

「参院選の結果とこれからの課題」

中山 徹(奈良女子大学教授)

自治体学校の開講直前に投票日が予想される参院選。その結果は秋からの自治体運営にも大きな影響を及ぼします。参院選の結果を踏まえ、また来年の統一地方選挙も展望し、今後の自治体政策をどのように考え、自治体の転換をどう進めるべきでしょうか?

14:40~ 記念講演②

「大規模災害に備える自治体の課題」

室崎輝輝(神戸大学名誉教授)

災害の時代を迎えています。自然の凶暴化と社会の脆弱化の中で、災害の巨大化、頻発化、多様化、複合化が進んでいます。頻発化は公衆衛生的取り組みを、多様化は個別密着的な取り組みを、巨大化は連携協働的な取り組みを求めている。その中でも自治体のあるべき姿を考えます。

16:00~ リレートーク(20分×4本)

「コロナ禍最前線」

—住民の暮らしを支える自治体労働最前線—

17:30 1日目終了

## 3日目 全体会 (Zoom同時配信)

7月25日(月) 9:15~11:40

キッセイ文化ホール 中ホール

9:00~ 開場

9:15~

特別講演 「地球環境の危機と地方自治」

宮本憲一(大阪市立大学名誉教授)

地球環境の危機は国際的な共同行動が必要で、日本の場合も、地方自治体の温暖化防止政策を中心に地方住民の自主的な参加による内発的な経済発展を基軸に自然エネルギーの開発・管理を進めることです。このためには、小規模自治体の連携と府県からの支援の体制を作るなどの広域行政の改革と研修機関の設立(地方大学の役割)が必要でしょう。

11:00~

特別報告 「社会教育から住民自治へ」

—松本市のとらぐみ—

田開寛太郎(松本大学専任講師)

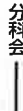
社会教育は自治体労働者としての社会教育職員が存在が欠かせません。松本ではあるひとりの社会教育職員の経験が活かされ、住民自治を育む「市民財政白書づくり」という共同実践が生まれました。こうしたとりくみがなぜ実現したのか、これから期待することは何か、さらに社会教育とは本来どういう可能性をもちうるのかについてお話します。

11:30~

閉校あいさつ

## 2日目 分科会・講座 7月24日(日) 9:30~16:00

松本市勤労者福祉センター / あがたの森文化会館



### 1 コロナ禍で求められる社会保障の役割と課題

助言者: 横山 壽一(佛教学客員教授)

コロナ禍で露わになった社会保障の脆弱な体制を放置し、中途半端な緊急対応で生活や営業の危機を乗り切ることができません。分科会では、コロナ禍における生活実態と現行制度・施策の問題を明らかにしたうえで、緊急に求められる施策、自治体が果たすべき役割、国民の生活を守るセーフティネット再構築に向けた課題について検討します。



### 2 医療と公衆衛生体制の強化を考える

助言者: 長友 薫輝(佛教学客員教授)

新型コロナウイルスの感染が長引く一方、政府の公的医療抑制策によって、医療現場は崩壊ともいえるしわ寄せを被ってきました。感染症の波が繰り返し押し寄せることを考えても、この抑制策を転換し保健所をはじめとする公衆衛生体制を強化する必要があります。地域で起きている実情と今後の方向性について話し合います。



### 3 公立保育所民営化、統廃合にどう対抗するか

—保育所利用者減少時代にどのような保育制度を展望すべきか

助言者: 中山 徹(奈良女子大学大教授)

保育所利用者が増える前提で講じられてきた様々な施策。利用者減少の時代を迎え、そのあり方や保育所運動の方向性の見直しが進められています。新型コロナウイルス感染症以前に作成された子ども子育て支援事業計画や各地で進められている公立保育所民営化、統廃合についても、一旦立ち止まる必要があります。利用者が減少するからこそ実現すべき保育制度について考えます。



### 4 自治体民営化のゆくえ—「公共」の変質と再生

助言者: 尾林 芳匡(弁護士)

窓口業務・体育施設・公園・図書館・保育学校プールをはじめとする自治体の民営化、学校や公共施設の統廃合は、住民にとって深刻な問題をはらんでいます。その一方で、住民運動の力で食い止め、再公営化する動きも広がっています。PFIについての会計検査院の報告書も、自治体として生かすことも重要です。各自治体の経験と交流し、再生への展望を明らかとします。



### 5 公務労働とデジタル化—便利になるけど落とし穴にご用心

助言者: 黒田 兼一(明治大学名誉教授)

政府の「司令塔」(デジタル庁)の勢いもあって全国各地でデジタル化が急ピッチです。しかしデジタル化は便利になりますが、人間社会に悪影響をもたらす「落とし穴」が潜んでいます。公務公共の分野では「落とし穴」にはまることになってはなりません。落とし穴とは何か、どこにあるのか、それを考え、見つけ出し、除去するための手立てを考えます。



### 6 地域循環型経済を実現し自立したまちづくり

助言者: 小山 大介(京都橋大学准教授)

新型コロナウイルス感染拡大により、複合不況とも言える状況が深まり、未来への希望を待ちにくくなっています。その中で、私たちが住む地域に目を向ける機会が多くなりました。昨年は、地域産業が、地産地消型→地産地消型→地産外消型へ発展する道を学びました。地域循環型経済の意義とすばらしさを学び、討論しましょう。



### 7 政府の自治体戦略と対抗軸

講師: 岡田 弘弘(京都橋大学教授)

岸田政権は、コロナ禍第6波のなかで、第33次地方制度調査会を発足させ、国による地方自治体への介入を強化するとともに、都道府県、市区町村レベルでの「広域連携」を制度化する動きを強めています。その背景とねらい、現状を解説するとともに、憲法と地方自治の観点から、対抗軸の形成を具体的に展望します。

## 現地分科会



### 8-1 松本モデルを現地に学ぶ—公民館活動が広がった住民自治

助言者: 手塚 英男(生涯学習実践者)

田開寛太郎(松本大学専任講師)

開催日時: 7月24日(日) 午前 あがたの森文化会館

公民館における「松本モデル」とは、地区住民と地区常駐職員が協働して、地区の学習・福祉・健康・子育て・防災の輪を築いていく—これが松本ならではの地区自治=地域分権の姿です。松本市の公民館活動の歴史や到達点に学び、そして市民がつくる松本市財政白書づくりの具体的事例を交えながら、住民自治のあるべき姿について考えます。



### 8-2 再生可能エネルギーと地域力

助言者: 森本 宏夫(NPO地域づくり工房)

開催日時: 7月24日(日) 午後 あがたの森文化会館

地球温暖化防止のために再生可能エネルギーの普及は急務ですが、原発や火力の代替として、大規模&短期間に開発を進めることは、環境破壊や地域社会とのあつれきを生じさせ、持続可能な社会に向けた営みに逆行するものです。各地での問題を交流しつつ、地域の自立に資するエネルギー開発のあり方を一緒に議論しましょう。

現地分科会

### 9 飯田市にみる環境文化都市構想・定住自立圏

・広域連合と阿智村観光DMO・満蒙開拓平和記念館

開催日時: 7月24日(日)~25日(月) 1泊2日

長野県南端の南信州は、9万6000人の飯田市を中心に1万2000人から380人の14市町村が広域圏を形成しています。中核市としての役割を担っている飯田市政の現状と星空観光で注目集めている阿智村観光・多くの犠牲者を出した満蒙開拓の歴史を語る記念館に学びます。

1日目: 7月24日(日) 9:00 松本駅前集合

阿智村・満蒙開拓平和記念館見学ののち、阿智村役場で「阿智村観光とDMO」の報告(熊谷阿智村長・阿智星神観光局長)を聞きます。星神温泉(「鶴巻荘」TEL:0265-43-2320)に宿泊。夕食後希望者には「日本一の星空観光」(別途料金)。

2日目: 7月25日(月)

飯田市役所で午前、報告「飯田市政と広域連携」(高田飯田市副市長)を聞きます。11:30解散。飯田商工会館前バス停より高速バス新宿行1354発/名古屋行12:30発に接続します。

旅行代金等詳細はホームページでご確認ください。

最少催行人員 10名

https://va.apollon.nta.co.jp/jichitai\_2022/

## Zoom分科会・講座 (当該時間の15分前に接続します)

Zoom講座

### 10 自治体財政のしくみと課題

講師: 川瀬 慶子(自治体学校長・静岡大学教授)

開催日時: 7月30日(土) 13:30~16:00



地方議員の方々、財政の構造を知りたい自治体職員や市民団体の皆さまに、自治体財政の基本的なしくみを解説した上で、国と地方の財政関係、「地方創生」政策、新型コロナウイルス感染症対応交付金等による地方財政への影響、自治体財政の現状と課題について、具体的事例を交えながらわかりやすく解説します。

### 11 交通権を保障した交通政策と地域の交通のあり方

助言者: 可児 紀夫(愛知大学地域政策学センター 研究員)

開催日時: 7月31日(日) 13:00~16:00



私たちは、コロナ禍で人との交流(交通)が生きていく上でどんなに大切が知らされました。今だからこそ、現実を踏まえ、現行の法制度を超えて、交通権を保障した交通政策と地域の交通のあり方について話し合いたいよう。交通権を保障した交通は、誰もがいつでも便利で安価な交通を安全で安心して享受できる交通とします。

### 12 将来につなぐ農業・農村政策の考え方

助言者: 伊藤 亮司(新潟大学助教)

開催日時: 7月31日(日) 13:00~15:00



ロシアによるウクライナ侵攻によって、エネルギー確保とともに、日本の食料自給率の低さが改めて浮き彫りとなりました。それは農業所得の確保を重視してきた日本の農業政策の結果でもあります。各地域の積極的な取組みを交流しながら、農業・農村のこれからについて話し合います。

### 13 学校統廃合・小中一貫教育を考える

—公共施設再編で加速、これっていいの?

助言者: 山本 由美(和光大学教授・東京自治問題研究所理事長)

開催日時: 8月5日(金) 13:00~16:00



コスト削減だけが目的で教育的根拠のない学校統廃合・小中一貫教育づくりや、プールの民間委託、施設整備へのPFI事業導入など、民間企業の参入も進められています。この分科会では、こうした動きの背景や狙いを学ぶとともに、各地の住民運動の経験と交流し、住民自治の基盤でもある学校をどう守っていくかを考えます。

### 14 水道広域化と民営化「広域水道に住民の声はとどかない」

助言者: 近藤 夏樹(自治労連公企評事務局長)

開催日時: 8月6日(土) 13:30~17:00



民営化は各地の運動で止めていますが、広域化は水面下で着々と進んでいます。国は、都道府県主導で広域化を推進し、広域化計画に基盤自治体議会の議決は必要なく、広域水道に住民の声はとどきません。そして、広域化は民営化のツールかもしれません。

### 15 デジタル化と地方自治のゆくえ

講師: 本多 滄夫(龍谷大学教授)

開催日時: 8月7日(日) 13:30~16:00



自治体DX、システム標準化、スーパーシティ、オンライン窓口、AI等の問題を明らかにし、「日本が世界から取り残されている—デジタル化で社会問題が解決できる」と喧伝し、政府や財界は自治体をどう変えたいのか、先行自治体の状況を踏まえ、ファクトチェックをしながら、住民本位の地方自治のあるべき姿を議論します。

Zoom分科会

Zoom講座



美ヶ原・美しの塔 (提供: 松本観光コンベンション協会)

## 参加費

(いくつかの参加パターンがあります。詳しくは「お申し込みのご案内」をご覧ください)

- 現地松本で3日間通して参加の場合 (Zoom分科会も2つ参加できます)

(カッコ内は2日参加でZoom分科会1つ参加の場合)

自治体問題研究所個人会員 14,000円(11,000円)

一般 16,000円(13,000円)

(現地分科会9へのご参加の場合、別途宿泊費+バス代がかかります)

- Zoomだけ視聴する場合 (カッコ内は一般の場合)

自治体問題研究所個人会員で全体会を2日間視聴する場合 7,000円(9,000円)

団体で全体会を2日間視聴する場合 16,000円(会員・一般は同額)

団体で全体会2日間+3Zoom分科会を視聴する場合 20,000円

## 長野県内地元割引

- 現地実行委員会として協力いただく地元・長野県では、町村議会議員や住民のみなさまを対象に特別割引でご参加いただけます(県・市議会議員、自治体職員は除く)。詳細は現地実行委員会にお問い合わせください。

長野県住民と自治研究所 電話:0261-22-7601 E-mail: jitiken@omachi.org

## 新規入会者特典

- 松本現地参加2日以上参加される方で、自治体学校を機に新しく自治体問題研究所(都道府県ごとの研究所)に新規入会される方には、当日受付で入会申込書と引き換えに、初年度会費から4,000円を差し引かせていただきます。

## 2日目分科会の昼食について

- 7月24日(日)の分科会会場となる松本市勤労者福祉センター、あがたの森文化会館は大規模商業施設「イオンモール松本」に近接しており、食事処は豊富ですが、お弁当の注文も受け付けます。申込用紙に○をつけてお申し込みください。

### 【新型コロナウイルス感染症対策ご協力をお願い】

- 会場、交通機関、宿泊施設、観光施設、食事施設において、それぞれの発信しているガイドラインに則ってご対応をお願いします。
- マスクの着用、アルコール消毒等徹底をお願いしております。マスク、除菌シート、うがい薬などの感染予防品はご参加者自身でお持ちいただきますようお願いいたします。
- その他自治体学校開催時のコロナ感染防止対策については、実行委員会の定めるガイドラインの遵守をお願いします。

## 第64回自治体学校実行委員会

事務局 〒162-8512 東京都新宿区矢来町123 矢来ビル4階 自治体問題研究所内  
TEL 03-3235-5941 FAX 03-3235-5933 E-mail: info@jichiken.jp

〈共催団体〉自治体問題研究所／北海道地域自治体問題研究所／オホーツク地域自治研究所／青森県地域自治体問題研究所／岩手地域総合研究所／福島自治体問題研究所／茨城県自治体問題研究所／とちぎ地域自治研究所／ぐんま住民と自治研究所／埼玉自治体問題研究所／千葉県自治体問題研究所／東京自治問題研究所／多摩住民自治研究所／神奈川自治体問題研究所／にいがた自治体研究所／富山県自治体問題研究所／いしかわ自治体問題研究所／長野県住民と自治研究所／静岡県地方自治研究所／東海自治体問題研究所／滋賀自治体問題研究所／京都自治体問題研究所／大阪自治体問題研究所／兵庫県自治体問題研究所／奈良自治体問題研究所／和歌山県地域自治体問題研究所／とっとり地域自治研究所／しまね地域自治研究所／岡山県自治体問題研究所／広島自治体問題研究所／徳島自治体問題研究所／香川県自治体問題研究所／愛媛県自治体問題研究所／高知自治体問題研究所／福岡県自治体問題研究所／長崎県地域自治体研究所／くまもと地域自治体研究所／みやざき住民と自治研究所／おきなわ住民自治研究所

## ●会場へのアクセス●

(JR松本駅へはJR新宿駅から「特急あずさ」で2時間30分、JR名古屋駅から「特急しなの」で2時間、また両駅から高速バスも出ています)

7月23日(土) ●全体会 キッセイ文化ホール 松本市水汲69-2 電話:0263-34-7100  
25日(月)

●JR松本駅お城口下車、アルピコ交通バス浅間温泉行きバスで20分

●7月23日(土)11時30分から13時まで30分間隔でJR松本駅お城口(エースイン松本前)からキッセイ文化ホール行きのシャトルバスが出ます。また17時30分から19時まで30分間隔でキッセイ文化ホールからJR松本駅行きのシャトルバスが出ます。

7月24日(日) ●分科会 松本市勤労者福祉センター 松本市中央4-7-26 電話:0263-35-6286

●JR松本駅お城口から徒歩20分

7月24日(日) ●分科会 あがたの森文化会館 松本市県3-1-1 電話:0263-32-1812

●JR松本駅お城口から徒歩20分、または松本周遊バス(タウンズニーカー)東コースで「旧松本高校」下車

<p>7/23 (土)</p>	<p>8:40 JR町田駅改札 集合              8:50 横浜線 八王子行き              9:15 八王子駅 着              9:36 八王子 あずさ9号6号車              11:39 松本駅 着 下車 徒歩10分              ※リッチモンドホテル松本…荷物預ける              12:00 昼食              バス(20分)→総合体育館下車3分              タクシー(15分) <u>キッセイ文化ホール</u>              12:30～ 歓迎行事              13:00～17:30 全体会</p>	<p>宿泊施設              リッチモンドホテル松本 2泊              0263-37-5000               ※8kg 車9分</p>
<p>7/24 (日)</p>	<p>8:50 ホテル出発 徒歩20分              9:30～16:00              分科会 松本市勤労福祉センター              佐々木 1. 社会保障の役割              田中 4. 自治体民営化の行方              細野 5. 公務労働とデジタル化              殿村 12. 政府の自治体戦略と対抗軸              ※ 各分科会終了後、入り口あたりで集合</p>	<p>※ 分科会の昼食はお弁当を頼んでいます。</p>
<p>7/25 (月)</p>	<p>3日目 全体会 9:15～11:40              キッセイ文化ホール 中ホール              8:30 ホテル出発 バスカタクシー              9:15 全体会              11:40 終了              ※荷物をホテルに預けたまま出発するか、松本              駅に出て、コインロッカーに預けるか?              12:30 昼食              13:45 松本駅 あずさ34号              15:48 八王子 着              16:04 横浜線 八王子 発              16:31 町田 着</p>	<p>会派視察なので各自参加した分科会の報告              レポートを期限一週間で佐々木まで提出して              ください。</p>